

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕  
平成 25 年度業務報告及び収支決算  
〔 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

### 1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m <sup>2</sup> 延床面積 7,899 m <sup>2</sup> / 専有面積 1,975 m <sup>2</sup>
開館日	平成17年10月29日

### 2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成22年4月1日から平成27年3月31日まで

### 3 指定管理に係る業務総括

#### (1) 基本的な方針の総括

指定管理第2期のテーマ「アートで元気になろう」の事業展開を継続しました。  
アートを積極的に生活に取り入れこころ豊かに暮らす市民といっしょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指し、創造性のある活動を多く行いました。いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制づくりに努め、すべての人に開かれた運営に男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」とする）とともに取り組むことで、横浜市の文化振興に貢献しました。

(2) 25年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

企画展、通年で行っているアトリエ講座等の内容を充実させ、市民が美術に触れる機会(鑑賞・参加)を数多く提供しました。センター横浜北との連携により、複合施設の特性を生かしたプログラムを実施しました。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの収蔵館として、コレクション展やロビー展示を通してコレクションを公開し、「フォト・ヨコハマ」への協力・連携も推進しました。アートサポーターをはじめとする市民協働や参加型事業の展開を通して、市民がアートと出会う機会を増やしました。特にコンテンポラリーアートを紹介することで、現在進行形のアート体験ができる施設としての機能を発揮しました。

② 運営の総括

貸館利用者のサービス向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と共同で利用者の居心地のよい施設運営に努めました。利用者の目線に立って希望を受け止め、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行いました。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存・活用を推進しました。

③ 管理の総括

設備業者とともに、設備や備品の適切な保守管理を行いました。アートフォーラムあざみ野全体で環境に配慮するとともに、安心して明るく使いやすい施設管理に取り組みました。

④ その他の総括

ホームページ等で活発に情報発信し、利用者の利便性も向上させました。常に来館者の視点に立ち、センター横浜北との連携を図りながら、施設運営・事業展開の両面において成果を上げました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 文化芸術に直接出会える場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「横浜wo発掘suru展 vol.4」(6月)</li> <li>● 「あざみ野こどもぎやらりい2013」(8月)</li> <li>● 「あざみ野コンテンポラリー vol.4」(10月)</li> <li>● 「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真展」(2月)</li> </ul>	<p>□ 4回の展覧会で、関連事業を含め入場者数 12,000 人以上。</p> <p>■ アンケートを実施し、企画展4回の平均満足度 4.6 以上。</p>	<p>・展覧会4回を計画通り実施。</p> <p>「横浜wo発掘suru vol.4 山村浩二が選ぶ新世代アニメーションのつくり手たち」入場者:2,158人、アンケート満足度4.78。</p> <p>「あざみ野こどもぎやらりい2013」入場者3,553人、アンケート満足度4.77。</p> <p>「あざみ野コンテンポラリー vol.4 スーパーピュア展 2013」入場者4,324人、アンケート満足度4.84。</p> <p>「あざみ野フォトアニマル写真の境界+カメラ・写真コレクション展 戦争とカメラ」入場者3,795人、アンケ</p>	<p>□ 企画展4回の入場者数合計13,830人。それぞれ展示内容、関連事業ともに好評をいただき、高い評価を得ました。</p> <p>■ 顧客満足度は平均4.74。</p>

		一ト満足度4.57。	
--	--	------------	--

イ 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民のためのワークショップ 美術創作の基礎の習得を目的とした講座や、アーティストによるレクチャーと制作を行う講座等。</li> <li>●ショーケースギャラリー ホワイエに設置した展示ケースで、アーティストの小品展を実施。</li> <li>●アーティスト「今年の顔」</li> <li>●「あざみ野カレッジ」 アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなテーマをとりあげる学びの場。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□市民のための講座・ワークショップを年間 50 回以上実施。</li> <li>□講座・ワークショップ参加者延べ 850 人以上、平均満足度 4.6 以上。</li> <li>□ショーケースギャラリーで、新進アーティストによる展示を 6 回実施。</li> <li>□あざみ野カレッジは、平成 22～26 年度の 5 年間で学生数 1,000 名(25 年度 200 名)。</li> </ul>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を計画通り実施。 市民のためのワークショップは、「陶芸」「水彩画」「デッサン」など、毎回充実した内容で参加者の好評を得ました。</li> <li>・あざみ野カレッジは、多彩なテーマで定期的 に実施。</li> </ul>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□市民のための講座等を年間 51 回実施。</li> <li>□参加者延べ 790 人、平均満足度 4.77。リピーターを増やすとともに、初心者にも専門性の高い講座を希望する方々にも応える、多彩なプログラムを提供しました。</li> <li>□ショーケースギャラリーを 5 回実施。それぞれの作家の制作過程をサポートし、ショーケースギャラリー「都筑晶絵展」では関連ワークショップも実施しました。</li> <li>□あざみ野カレッジは 11 回実施、参加者 310 人。(平成 22 年度から 4 年間で 894 人)。</li> </ul>
---	---	--	--

ウ 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どものためのプログラム ・フリーゾーン 親子が粘土、紙、えのぐで遊べる創造活動の場。</li> <li>・親子で造形ピクニック 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にした造形活動の場。</li> <li>・ワークショップ プログラムごとに対象年齢を設定し、体験することを大切にした幼児・児童向けの多彩なワークショップ。</li> <li>●学校教育との連携 ・教師のためのワークショップ ・ティーチャーズあざみ野プロジェクト 中学・高校の美術の先生との連携、研修への協力。</li> <li>●アウトリーチ</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□子どものためのプログラム 年間 80 回以上実施。(ジュニアコーラス含む) 参加者数 延べ 8,200 人以上。</li> <li>□アニメーション制作など、ワークショップ実践手法を学べる教師向けの講座を 1 回実施。</li> <li>□ティーチャーズあざみ野プロジェクトへの参加者数 20 人以上。</li> <li>□アウトリーチ事業 5 回以上。</li> </ul>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップや事業を 計画通り実施。</li> </ul>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□子ども向け講座を 85 回実施。</li> <li>□子供のためのプログラム参加者：10,293 人。</li> <li>■中学校(美術研究会)教諭の研修会を実施。参加者 12 名。</li> <li>※小学校(図工研究会)教諭研修会は依頼なし。</li> <li>□アーティストと共に学校等で 5 回のアウトリーチ事業を実施。学校の授業とは違ったアートの体験を子どもたちに提供しました。</li> </ul>
--	--	--	---

「横浜市芸術文化教育プログラム」に協力し、アーティストと一緒に小中学校へ出向いて創作を行います。			
--	--	--	--

エ 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[取組内容]</p> <p>○横浜北部美術公募展 実行委員会と共催し、運営をサポート。</p> <p>○青葉区民芸術祭(前期/後期) ふるさと協議会、運営委員会と共催し、運営をサポート。絵画・書道・写真・茶道・文芸などの発表。</p> <p>●街なかアートプロジェクト アート屋台を活用し、出張ワークショップを実施。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□横浜北部美術公募展 応募総数 300 点以上。 入場者数 4,500 人以上。</p> <p>□青葉区民芸術祭(前・後期) 入場者数 5,000 人以上。</p> <p>□街なかアートプロジェクト 平成 22～26 年度の 5 年間で 15 事業実施(25 年度 3 事業)</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・北部公募展、青葉区民芸術祭ともに青葉区を中心とする運営団体との協力を強め、充実した内容の展示となりました。</p> <p>・街なかアートプロジェクトは、「あざみ野まつり」など地域活動の場で出張ワークショップを実施。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□北部公募展の応募総数は 329 点、入場者数 4,880 人。</p> <p>□青葉区民芸術祭の入場者は前後期あわせて 4,398 人。お茶席など、来館者との交流が活発に行われました。</p> <p>□街なかアートプロジェクトを 3 事業実施。</p>
---	---	---	--

オ 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

<p>[取組内容]</p> <p>●フェローアートギャラリー 障がいのある人たちの作品展示を行うミニギャラリー。</p> <p>●アートカフェ 市民とアーティストの交流の場。</p> <p>●アートワゴン アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場。</p> <p>●アートガーデン</p> <p>●あざみ野ナイト 建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベント。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□フェローアートギャラリー 3 組以上の展示発表。</p> <p>□アートカフェ 年 3 回実施。</p> <p>□アートワゴン 年 9 回実施。</p> <p>□あざみ野ナイト 年 1 回実施、開催日の来場者数 2,200 人以上。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・事業を計画通り実施。フェローアートギャラリーでは、独特の感性で個性豊かな表現活動を展開している、障がいのあるアーティストたちの作品を展示しました。</p> <p>・アートワゴンでは、アーティストや障がいのある人と市民との交流の場が生まれました。</p> <p>・あざみ野ナイトでは企画展「横浜 wo 発掘 suru」展参加アーティストの映像作品を上映。関連ワークショップも実施。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□フェローアートギャラリーにおいて 3 組(4 回)の展示を実施。</p> <p>□アートカフェを 3 回、アートワゴン(“マルシェ”を含む)を 9 回実施し、アーティストや市民間の交流を推進しました。</p> <p>□あざみ野ナイト(1 回実施)開催日(3/2)の来館者(入館者) 1,075 人。</p>
--	--	---	---

(2) 運営について

ア 市民の利用を促進することについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アトリエの平日夜間料金を半額とし、新規利用者開拓と利用促進を図ります。</li> <li>●利用者の意図が最大限発揮できるよう、具体的にアドバイスをします。</li> <li>●利用団体の展覧会情報をホームページや情報誌で紹介し、広報協力をします。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>□アトリエ利用目標利用率 (5年間で利用可能コマ数に対し70%)          コマ単位 67%、日にち単位 90%、          夜間コマ利用率 27%。</p> <p>□アンケートによる展示室利用者の満足度 4.6以上。</p>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの定期利用者が増え、あざみ野カレッジなどの市民協働事業でもアトリエを有効利用しました。平日夜間料金の半額適用は引き続き実施し、利用促進を図ります。</li> <li>・ホームページで貸出備品を画像で紹介し、展示方法についても適宜アドバイスしました。利用者の満足度は高く、回答した方の内ほぼ全員が「また利用したい」と回答しています。</li> </ul>	<p>[達成状況]</p> <p>□アトリエ利用率：60% (コマ単位)。日にち単位：92%。</p> <p>□アトリエ夜間利用率：33%。</p> <p>■アンケートによる利用者満足度 4.81。</p>
---	--	--	---

イ 施設運営における市民参画を促進することについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アートサポーターの方々に、展覧会やワークショップの運営、広報事業にご協力いただきます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>□アートサポーター登録者数 平成22～26年度の5年間で150名(25年度で150名)を目標とします。</p> <p>■アートサポーターに、企画展の事前調査やアーティストの制作補助への協力のほか、企画展レポートの執筆など、広報事業でも活動していただきます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>アートサポーターの方々に、企画展の運営協力やワークショップ講師など、多方面で活動していただきました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□アートサポーター登録者数169名。</p> <p>■企画展関連イベントのレポートの執筆や、視覚に障がいのある方の企画展鑑賞会でのサポートをしていただきました。</p>
--	---	---	---

ウ 積極的な広報を展開することについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報誌「アートあざみ野」年4回発行。</li> <li>●ホームページの内容充実と最新情報の発信</li> <li>●「あざみ野メンバーズ」</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>□ホームページアクセス件数年間45万件以上。</p> <p>□ホームページ更新 週1回以上</p>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで常に最新情報を発信し、アクセス数が順調に増えています。効果的な広報・情報</li> </ul>	<p>[達成状況]</p> <p>□ホームページアクセス数：682,244件(月平均56,853件)。</p> <p>□メールマガジンを毎月1</p>
---	--	--	---

(メルマガ登録者)	<input type="checkbox"/> あざみ野メンバーズへのメールマガジン 月 1 回の定期配信。 <b>■</b> 広報する内容によって有効な媒体を選択し、コストパフォーマンスを高めめます。	提供を進めました。 ・メルマガを毎月発信し、展覧会や各講座の有効な告知手段になっています。 ・コンテンポラリーアート(企画展)に関して有効なウェブ広告やツイッターでの広報を行いました。	回定期発信するほか、イベントに合わせて随時発行。 <b>■</b> 特に企画展において、ウェブ広告やツイッターでの情報提供により、来場者誘致が進みました。
-----------	---	--	--

## エ 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

<b>[取組内容]</b> ●顧客満足度調査(事業参加者と貸館利用者)(再掲) ●管理合同ミーティング、職員ミーティング	<b>[達成指標]</b> <b>■</b> 利用者のクレームや意見を館内職員で情報共有し、迅速な運営改善につなげます。 <b>■</b> 障がいのある人を対象にしたギャラリートツアーの実施や、サインの工夫をします。	<b>[実施内容]</b> ・アンケートや窓口でのご意見には迅速で適切な対応をしました。 ・施設内の催事情報や周辺の案内図を見直し、わかりやすい表示にしました。	<b>[達成状況]</b> <b>■</b> 施設利用者の顧客満足度は高く、目立ったクレームはほとんどありませんでした。 <b>■</b> 展示室利用申請については、移転後の市民ギャラリーとも合わせ、公平性の高い方法への変更を検討しました。 <b>■</b> 企画展開催中に「視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会」を毎回実施。
--	--	--	--

## オ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

<b>[取組内容]</b> ●適切な収蔵庫管理(温湿度管理、空気測定、喰害虫調査) ●資料の映像記録、データベース整備 ●作品の状態確認、修復 ●公開 あざみ野フォト・アニュアル (展示室での企画展) ロビー展示 (テーマを設定した小展示) ・ ●貸出、熟覧への柔軟な対応	<b>[達成指標]</b> <b>■</b> 展示室内環境は、年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%。 <b>■</b> pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置。 <b>■</b> 文化財喰害虫生息調査を定期的に実施。 <b>■</b> 講座実施、資料活用については東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力を得ながら進めます。 <b>■</b> ワークショップや講座を実施し、写真制作に関わる理解を推進します。 <input type="checkbox"/> ロビー展示 年 4 回実施。	<b>[実施内容]</b> ・設備業者と月 1 回の収蔵庫点検を実施し、良好な環境を保ちました。 ・担当職員が他機関や専門家との交流を通して専門知識を高め、資料管理や調査研究に役立ちました。	<b>[達成状況]</b> <b>■</b> 常に点検業者・設備業者との連絡をとり、収蔵庫内の環境は良好。 <b>■</b> フォト・ヨコハマ 2013 に合わせて写真展(企画展とコレクション公開)を実施。 <b>■</b> 外部講師による写真制作のワークショップを開催。 <input type="checkbox"/> ショーケースギャラリー(ロビー展示)を 4 回実施。
--	---	---	--

利用状況等について

施設名	25年度	
	稼働率	利用者人数
展示室1・2	99% (99%)	100,849人
アトリエ	92% (60%)	20,332人
その他		
合計		121,181人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

(3) 管理について

ア 市民ギャラリーあざみ野占有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備業者とともに建物・設備の保守管理を確実に、法定点検を遺漏なく実施します。</li> <li>● 展示室の壁面の補修や備品のメンテナンスなど、良好な状態を保ちます。</li> <li>● 空気調和や清掃を適切に行い、快適な環境維持に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間無事故を目指します。</li> <li>■ クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</li> <li>■ 修繕必要箇所迅速に対応します。</li> <li>□ 展示室壁面を年1回メンテナンス(塗り直し)します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間計画どおりの点検・メンテナンス業務を実施し、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、環境維持管理を適切に行いました。</li> <li>・ 建物の長寿命化のため、委託会社との情報共有や適切な保守業務を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間無事故でした。</li> <li>■ 経年劣化箇所の修繕を実施（共有部分9か所、専有部分2か所）。</li> <li>□ 展示室壁面塗り直しを実施し、展示室環境を良好にしました。</li> <li>■ 快適な環境維持を実現し、クレームはありませんでした。</li> </ul>

イ 環境問題への配慮について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設利用上出た廃棄物を適切に処理します。</li> <li>● 光熱水費の削減に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ゴミの分別を徹底し、排出量を抑えます。</li> <li>■ 利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</li> <li>□ 電気とガスの使用量を平成24年度比▲1%とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミの削減のため、分別のほかペーパーレスや再利用に努めました。</li> <li>・ こまめな消灯や電源オフ、空調管理を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備会社と協力し、ゴミ分別を適切に行いました。</li> <li>■ 利用者の理解も進み、ゴミの持ち帰りが徹底されています。</li> <li>□ 光熱水量の節減に努めました。光熱水使用量は、電気がH24年度比▲3.4%、ガスが▲0.3%。</li> </ul>

(4) その他について

ア 危機管理対策の充実について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●危機の未然防止に努めるとともに緊急対応体制を整備し、事故発生時には市へ迅速に報告します。</p>	<p>■緊急対応体制、危機管理マニュアルを随時更新し、危機の際には全員が一致して取り組みます。</p> <p>□合同防災訓練を年間 2 回実施します。</p>	<p>・常に防災意識を持ち、随時マニュアルを見直しました。</p> <p>・地震とそれにとまなう火事を想定した避難訓練を実施し、訓練等を通して日常的な危機管理意識向上に努めました。</p>	<p>■常に設備会社とともにマニュアル見直し・施設の点検と修繕を怠らず、大きな事故なく施設運営を行いました。</p> <p>□防災訓練を 2 回実施。</p>

イ 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●保険及び損害賠償について適切に取り扱います。</p> <p>●適正な個人情報保護、情報公開を行います。</p> <p>●ホームページを活用し、必要な情報を開示します。</p>	<p>■賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入。</p> <p>■集めた個人情報は規程に基づき適切に取り扱います。</p> <p>■施設利用者向けの必要な情報は、施設ホームページにおいて速やかに公開します。</p>	<p>・企画展の出品作品、アートサポーターやワークショップ参加者の館外での活動に保険加入しました。</p> <p>・個人情報保護の注意喚起の貼り紙掲出、事務処理ミス防止対策の徹底など常に取り扱いに注意を払いました。</p> <p>・ホームページでは常に最新の情報を発信しました。</p>	<p>■必要な保険に加入しました。</p> <p>■個人情報を適切に取り扱いました。</p> <p>■施設の空き状況や講座の応募状況など、利用者に必要な情報を速やかに発信・更新しました。</p>

ウ 男女共同参画センター横浜北との連携について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>○事業面での協働 企画段階から協働し、複合施設の相乗効果を発揮するとともに、双方の特色を活かした事業を行います。協力して施設の賑わいを創出します。</p> <p>○運営面での協働 日常業務や定例の打ち合わせにおいて情報や意見を交換し、「アートフォ</p>	<p>□ロビーコンサートを月 2 回実施。</p> <p>□アートフォーラムフェスティバルを年 1 回実施し、来館者数 2,500 人以上。</p> <p>■女性と芸術文化をテーマにした「あざみ野サロン」、インターンシップ受け入れ、子ども向けプログラム「クリ</p>	<p>・ロビーコンサートは多彩なプログラムで毎回好評を得ました。</p> <p>・アートフォーラムフェスティバルでは協働で企画した多彩なイベントを実施しました。</p> <p>・事業面、運営面、維持管理面のいずれも、情報交換と協働を図り、効果的な</p>	<p>□ロビーコンサートを 24 回実施。クラシックだけでなく、邦楽や合唱などを気軽に聴きいただきました。</p> <p>□「アートフォーラムフェスティバル」では、広報や当日の運営においても協力することで、様々な年齢層の来場者を迎え、全館がにぎわいました。来館者数 2,983 人。</p>



<p>ーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、広報や環境整備など、効果的な運営に取り組みます。</p> <p>○維持管理面での協働</p> <p>委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて伝えます。委託会社を交えた定例の打ち合わせを確実に実施し、共同で施設全体の適正な維持管理に取り組みます。</p>	<p>スマスジュニアコーラス」(11月～12月)を共同の企画で実施。</p> <p>□管理合同ミーティングを週1回実施(ギャラリー、センター、委託会社)。</p> <p>□職員合同ミーティングを月1回実施。</p>	<p>事業活動と管理運営を行いました。</p>	<p>■あざみ野サロンを5回、職場体験・インターンシップの受け入れ3回、ミニギャラリーでの共催展示(アフリカ写真展)、DV防止週間に合わせたワークショップ(パールアートカフェ)を実施。</p> <p>□週1回の管理合同ミーティングを実施(ギャラリー、センター、委託会社)し、適切な施設運営管理を実施。</p> <p>□月1回の職員合同ミーティングを実施し、情報共有しました。</p>
--	---	-------------------------	---

#### エ 横浜アーティストデータベースの構築と運用について

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■経営企画グループと共同でLOD化を進め、財団内で連携したデータベースを整備します。</p> <p>■新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、制作の支援、活動の紹介および発表の場の提供など積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・経営企画グループとともにLOD化への整備を継続、データ入力を進めました。</p> <p>・「横浜wo発掘suru」や写真展、ショーケースギャラリーにおいて新進アーティストを積極的に紹介しました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■ホームページのアーカイブ(アーティスト情報など)を充実させました。</p> <p>■独自の表現活動を行うアーティストを取り上げ、作品制作支援や発表の場の提供など、継続的に支援しました。</p>
---	--	---	--

#### (5) 収支について

##### ア コスト削減への努力について

<p>[取組内容]</p> <p>○適正な予算執行と業務の効率化による節減に努めます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■センター北とも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制します。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>一部消耗品の一括購入(折半)など効率化を進め、適正な執行と経費節減に努めました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■管理にかかる委託費は、前年度比+2.6%。</p>
---	---	---	---

##### イ 収入向上及び外部資金導入の努力について

<p>[取組内容]</p> <p>●利用料金収入の安定的</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□利用料金収入(負担金収入</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・利用料金を適正に收受</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□利用料金収入は約1,222</p>
----------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------

<p>な確保に努めます。</p> <p>●自主事業において、助成金・協賛金を獲得します。</p>	<p>を含む)年間 1,200 万円以上を維持。</p> <p>□助成金を 2 件以上申請し、協賛金・広告料とあわせて獲得目標 300 万円以上。</p>	<p>しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金（協賛金）を前年度申請分とあわせて 5 件申請。</li> <li>・情報誌「アートあざみ野」への広告掲載企業確保に積極的に取り組みました。</li> </ul>	<p>万円。</p> <p>□助成金・協賛金を 20 万円獲得。広告料収入は 6 万円（合計 26 万円）。</p> <p>「あざみ野フォト・アニマル」では協賛社（映像・写真関連企業 5 社）から、約 590 万円相当の機器の無料貸与等を受けました。平成 26 年度事業への助成金・協賛金を 2 件申請しました（うち 1 件 170 万円決定）。</p>
--	---	---	---

## 5 収支決算額について

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	164,200,000	164,200,000	0	
利用料金収入	9,700,000	8,624,646	1,075,354	
事業収入	3,500,000	2,756,229	743,771	
その他収入	4,780,000	5,270,040	△490,040	※駐車場利用料分 3,425,100円を含む。
合計	182,180,000	180,850,915	1,329,085	

支出				
人件費	69,000,000	62,079,535	6,920,465	人事異動・超勤削減による
管理費	62,500,000	58,616,618	3,883,382	修繕案件、設備買い替えの減
内訳	光熱水費	17,000,000	16,034,804	965,196
	委託費	42,000,000	41,205,274	794,726
	修繕費	2,000,000	969,455	1,030,545
	受託財産購入	1,500,000	407,085	1,092,915
事務費	14,380,000	12,591,803	1,788,197	
文化事業費	36,300,000	31,776,318	4,523,682	印刷費、委託費などの抑制
合計	182,180,000	165,064,274	1,7115,726	

収支計	0	15,786,641	△15,786,641	
-----	---	------------	-------------	--

## 【別紙】自主事業実績一覧

### 1 文化芸術に直接出会える場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	6月14日～ 6月30日	主催	横浜 wo 発掘 suru vol.4「山村浩二が えらぶ新世代アニメ ーションのつく り手たち」	展示室 1 アトリエ	日本の現代アニメーシ ョンの第一人者・東京藝 術大学大学院映像研究 科教授の山村浩二さん と、山村さんが選出した 新鋭アニメーション作 家11組12名の作品を紹介する展覧会。	無料	2,158人 (1,600人)
2	8月8日～ 8月18日	主催	あざみ野こどもぎ ゃらりい 2013	展示室 1・2 アトリエ	小学生までが楽しめる 展示とアーティストと 一緒につくるワークシ ョップなど。	無料	3,553人 (3,800人)
3	10月25日～ 11月17日	主催	あざみ野コンテン ポラリーvol.4「ス ーパーピュア展 2013 my rule, my style」	展示室 1・2、 アトリエ エ ほ か	障がいのあるアーティ ストたち16名の、絵画、 陶芸、刺繍、文字など、 自分だけのこだわりや 思い濃縮された作品を 紹介する展覧会。	無料	4,324人 (3,200人)
4	2月1日～ 2月23日	主催	あざみ野フォト・ アニユアル「写真 の境界+横浜市所 蔵がら・写真コレク ション展 戦争と カメラ」	展示室 1・2 アトリエ	独自のアプローチで写 真表現を拡張し、視覚に 揺さぶりをかけるアー ティストの作品を通し て現代写真の現地点を 探る展覧会。	無料	3,795人 (3,200人)

### 2 市民やアーティストの創造活動の支援の場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	市民のためのプロ グラム	アトリエ	技術や材料の扱いにつ いての基礎の習得を目的としたものや、アー ティストからレクチャーを受け、自らの表現に生 かすワークショップなど。	2,000～15,000円	790人 (延800人)
2	6月～3月	主催	市民協働事業	エント	新進アーティストの作	無料	—

			ショーケースギャラリー	ランスロビー	品を紹介する小品展。		(フリースペースで開催のため)
3	4月～3月	主催	市民協働事業 アーティスト「今年の顔」		新進アーティストを支援・紹介。	—	—
4	4月～3月	主催	市民協働事業 あざみ野カレッジ	アトリエほか	身の周りにあるアートに関する様々なことを、多彩な講師たちから学ぶ講座。	500円(登録料別途 500円)	310人 (200人)

### 3 次代を担う子どもの創造性教育の場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	子どものためのプログラム ① 親子のフリーゾーン ② ワークショップ ③ 親子で造形ピクニック	アトリエ	① 子どもと保護者が自由に、粘土、絵の具、紙工作による造形遊びを楽しむ時間。 ② 子どもを対象とした美術系のワークショップ。 ③ 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象とした造形を楽しむワークショップ。	① 無料 ② 1,000～4,000円 ③ 100円	10,293人 (8,200人)
2	8月～12月	主催	学校連携事業 ①教師のためのワークショップ ②ティーチヤーズあざみ野プロジェクト ③アウトリーチ	アトリエほか	①小・中学校の先生を対象とした鑑賞や実技についてのワークショップ。②中高生の美術体験の機会を増やすプロジェクト。③横浜市が進める「横浜市芸術文化教育事業」と連携し、コンテナポラリーアートを楽しむ事業。	無料	459人 (延450人)

### 4 創造活動と社会、市民活動を結びつける場、創造活動を介した人々の関わり合いの場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	7月～1月	共催	① 横浜北部公募展 ② 青葉区民芸術祭	展示室1・2ほか	①横浜市北部4区から公募した絵画を審査のうえ展示。 ②青葉区の芸術祭の開催。書道、写真、華道の展示。区民の日頃の文化	無料	① 4,880人 (4,500人) ② 4,637人 (5,000人)

					活動の成果発表の場の提供。		
2	4月～3月	主催	市民協働事業 街なかアートプロジェクト	館外	アート屋台で出張ワークショップを実施するなど、アートの持つ活力で街を元気にする事業。	無料	— (フリースペースで開催のため)
3	4月～3月	主催	市民協働事業 センター横浜北 共同事業 ① フェローアートギャラリー ② アートカフェ ③ アートワゴン ④ あざみ野ナイト	2Fラウンジ、アトリエ、エントランスロビー、アートプラザほか	① 障がいのある人たちのアート作品を共有スペースに展示。 ② 企画展開催に合わせて開催する、アーティストと市民が語る交流の場。 ③ アーティストや障がいのある人たちのアート作品を販売。 ④ アートフォーラムの建物を使った映像作品上映など、夜に行うイベント。	無料	— (フリースペースで開催のため)

#### 5 積極的な広報展開

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	情報紙「アートあざみの」、HPによる情報提供		当館主催事業のほか貸館の展覧会情報などの広報のため活用。	—	—
2	4月～3月	主催	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク		メルマガ登録者を増やし、ホームページを活用して横浜のアート情報にアプローチしやすい体制を作る。	無料	—

#### 6 カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの保存と活用	収蔵庫、エントランスロビー	データベース整備、適切な保存業務。 コレクションの魅力を広く紹介するための貸出、公開。	無料	—

#### 7 男女共同参画センター横浜北との連携

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)

1	4月～3月	共催	センター横浜北協働事業 Welcome ロビーコンサート	エントランス ロビー	市民広間演奏会の演奏を中心に、様々なジャンルの音楽を楽しんでいただくミニコンサート。	無料	2,103人 (3,000人)
2	11月10日	共催	センター横浜北協働事業 アートフォーラムフェスティバル	全館	アートフォーラムあざみ野の開館を記念して毎年秋に全館あげて実施するフェスティバル。	無料	2,983人 (2,500人)
3	11月～12月	共催	センター横浜北協働事業 「クリスマスジュニアコーラス」	アトリエ、音楽室、エントランス ロビー	小学生対象の合唱。ワークショップ9回と本番（ロビーコンサート出演）1回。	4,500円	35人 (30人)
4	8月～3月	共催	センター横浜北協働事業 「あざみ野サロン」ほか舞台芸術系事業	レクチャールーム、アトリエ ほか	講演会やコンサートなど、女性と芸術文化をテーマにしたイベント。	500～2,500円	5公演・592人 (3公演・400人)
5	8月	共催	センター横浜北協働事業 共催ワークショップ、インターンシップ	全館	共通するテーマのワークショップ、高校生の職場体験、大学生インターンの受け入れ、協働での企画等。	無料～1,000円	26人 (20人)